

みりよく 町の味力が詰まった『長島ど〜ん鰯』

努力が実った準グランプリ!!



↑ブリの塩焼きと照り焼きの上、島みりよくの風味がきいたアオサのあんがかかった『長島ど〜ん鰯』

表)が来場し、県内各地のグルメを堪能しました。
『長島ど〜ん鰯』は、地方大会でも好評となり、本大会では常に行列が後を絶たないほどの人気で、2日間で約1100食を販売しました。

東町漁業協同組合青壮年部(須崎隆文部長)の部員らもブース前で一緒になって声を張り上げて売り込んだほか、町内からもたくさんの方が応援に駆け付けました。

グルメ担当の4人の部員が中心となり、味付けや見た目などに工夫を重ね、昨秋完成した『長島ど〜ん鰯』。本大会直前には、部員らが夜遅くまで仕込みなどに時間を費やしました。練習や開発を繰り返し、それぞれが自分の役割を果たし、堂々の準グランプリとなりました。

堀元部長は「目標には一歩届かなかつたが次回は優勝できるような頑張りたい。最終目標は『長島ど〜ん鰯』が町内のすべての飲食店で食べられるようにすることです。協力いただいた地元商工会員、東町漁協など皆さんに感謝します」と涙を浮かべ喜びました。

県内の商店街グルメナインバー1を決める「第4回 Show-1グルメグランプリ」の本大会が、2月22、23日の両日、鹿児島市でありました。本町から初参戦した長島町商工会青年部(堀元哲也部長)の『長島ど〜ん鰯』が準グランプリを獲得しました。

本大会は昨年11月から県内各地で行われた地方大会の総決算で、県内12のグルメのほか、過去の大会で優勝し殿堂入りとなっている『枕崎鰯船人めし』(枕崎市)や静岡県のご当地グルメもゲスト参戦しにぎわいました。

会場となったかごしま県民交流センター前の公園には、2日間で約3万人(主催者発表)



↑『長島ど〜ん鰯』を買い求める来場者(2月22日)



↓漁協青壮年部らと一緒に『ぶりおうくん』(中央)も応援に



→2月24日、結果報告で笑顔を見せる堀元部長(右から2人目)ら